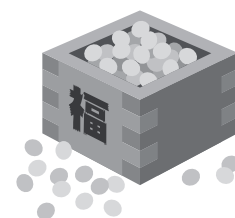


碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

ささえあい

第71号

☎ 学校教育課 ☎95-9918



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の活動とサポートブックについて紹介します。

畑第二弾 冬野菜に挑戦！！

西端小学校

毎年夏は野菜作りを行っています。今年も、なすやピーマン、トマトにきゅうりなどの野菜を育て、たくさん収穫することができました。畑から持ち帰った野菜を見て、早く食べたいと目を輝かせていた子どもたちの顔が印象的でした。夏の子どもたちの頑張りを見て、今年は「冬野菜」も育てたら子どもたちも更に喜ぶのではないかと考え、2回目の畑づくりを行いました。

校舎裏の畑では、にんじん、だいこん、白菜やねぎ、キャベツなどが元気に育ちました。だんだんと寒くなると、草取りは楽になってきました。

そして、畑で見かける虫たちも種類が変わっていき、「おんぶバッタ」を見つけた時は大喜びでした。畑では、野菜を育てること以外にも様々な季節の発見をして楽しんでいきます。



野菜たちが元気よく育っています

花いっぱいになるといいね

東中学校

東中学校では、毎年春と秋に種から花を育てています。まずは、トレーに高さをならして土を入れ、種の袋に書いてあるまき方を確認して、細かい種に気をつけてまきます。芽が出て葉っぱが3~4枚になったら、土を入れたポットに1つずつ、根がいたまないようそっと植え替えます。1時間の作業の授業で、100個ほど植え替えます。今年の春は、ポットの苗が1,000個くらいできました。次に、プランターや花壇の準備をします。花壇は草や石をとり、苦土石灰を入れて耕運機で耕します。コードを持ったり耕運機を操作したり、けがに気をつけて協力して作業します。苗が大きくなったら、花が咲いたときにどうなるか想像して、バランスを考えてプランターや花壇に植え替えます。プランターは、保育園や公民館、交番など地区の方にお届けします。喜んで受け取っていただけるので、次も頑張ってお届けしようとする気がわきます。日々の水かけや草取りなど大変な作業も多いですが、学校や地区が花いっぱいになってみんなが喜んでくれることを励みにがんばっています。



温室内で作業中



お花をお届け

陶芸で学びのはばを広げています！

新川中学校

本校の特別支援学級では、陶芸を行っています。粘土を力いっぱいこねることが得意、型に合わせて慎重に粘土を切るのが上手など、生徒のよさが光る作品づくりに取り組んでいます。一つの工程を終えるたびに報告をしながら、丁寧に作品を仕上げていきます。成型の最後に作者の「印」を押します。そして、窯での焼成を経て、ようやく自分の作品に出会います。

今年度は、へきなん福祉センターあいくるの窯をお借りして焼成しています。七月には、学校の畑で生徒が育てた夏野菜にお礼の手紙を添えてあいくるを訪問し、感謝の思いを伝えました。陶芸を通して地域の方との交流もさせていただくことができました。

自分の「印」の入った作品の出来栄えに触れるたび、生徒たちに笑顔があふれます。充実感を得て、今日もまた難しい作品づくりに挑戦します。



お礼の野菜、どれにしようかな？

つなげよう！支援の輪 ～サポートブックについて～

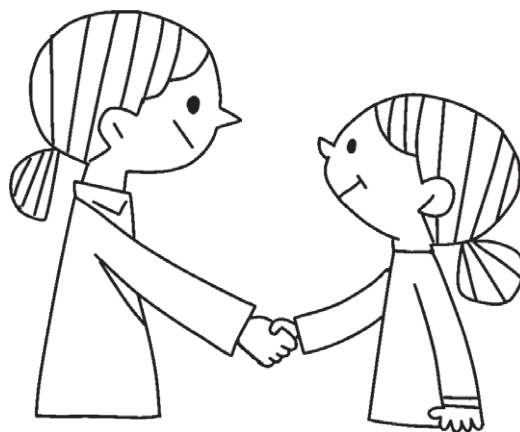
みなさんは「サポートブック」をご存知ですか。サポートブックは、先生や支援員など、お子さんが初めて接する人に、お子さんの特徴や接し方などを伝えるために、お子さんの情報を書くものです。このサポートブックのよい点を紹介します。

まず、お子さんに関わるたくさんの方が情報を共有でき、お子さんが安心して毎日を過ごせることです。園や学校、事業所も、家庭での様子がわかると支援がしやすくなります。

また、お子さんの日頃の様子を客観的に振り返ることができます。サポートブックは、年度ごとに記入します。1年前のお子さん比べて、成長を実感したり、支援について見直したりするよい機会になります。さらに、新年度になり環境やクラスなどが変わったときに、引継ぎがスムーズにできることもよい点です。サポートブックを記入しておけば、新しい担任などとの懇談の際、伝え忘れが少なくなります。

碧南市には「サポートシート」もあります。これは、サポートブックを簡略化したもので、学習面を記入する欄もあり、学齢期に適しています。サポートブックやサポートシートは、ホームページ（福祉課）で見ることができます。

サポートブックやサポートシートを活用して、支援の輪をつなげましょう。



そくばい会中止のお知らせ

毎年2月に新川中学校体育館で、市内特別支援学級の児童生徒とふれあい作業所の方が作った作品のそくばい会を開催してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から検討した結果、本年度も中止という決断をさせていただきました。開催を楽しみにして下さっていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。